

【新規設定コース】 訓練技法開発研修カリキュラム

コース番号	コ ー ス 名	期 間	定員	日数
9213	人材育成現場におけるウェルビーイング向上	令和7年11月20日(木)～11月21日(金)	30	2
開催会場	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 東京支部（東京都墨田区）	訓練の過程	訓練実施	
		キャリアステップ	ステップ2	
		訓練の要素	訓練指導の改善	
研修のねらい 及び 到達目標	組織内で「人材育成」に携わっている方々を対象に、WHOやOECD等が定義している指標や要素を学び、「人材育成現場」における従業員のウェルビーイング（幸福度）の高め方を習得します。※「人材育成現場」で取り組めない「フィナンシャル ウェルビーイング」については、解説のみとなります。 （到達目標） ・「ウェルビーイング」の基礎知識を理解する			
最低限 必要な知識	①コミュニケーションの基本 2キャリア形成・メンタルヘルス・ハラスメント関連等			
研 修 内 容	項 目（予 定）		講義	実技・演習
	1 ウェルビーイングとは何か〔講義・討議・ワーク〕 （1）ウェルビーイングを測定する4つの指標 （2）ウェルビーイングを構成する5つの要素 （3）ウェルビーイング向上に向けて人材育成現場でできること （4）ウェルビーイング向上を阻む要因		1 H	0.5 H
	2 キャリア ウェルビーイング〔講義・ワーク・情報交換〕 （1）公私の場面で形成されたキャリアの確認 （2）幸福度につながるキャリア		0.5 H	1 H
	3 ソーシャル ウェルビーイング〔講義・ワーク・討議〕 （1）自分を取り巻く関係者との人間関係の確認 （2）互いを尊重し合う関係づくり		1.5 H	1.5 H
	4 フィナンシャル ウェルビーイング〔小講義・情報交換〕		0.5 H	0.5 H
	5 フィジカル ウェルビーイング〔講義・討議・ワーク・実践学習〕 （1）心身の健康の確認 （2）メンタルヘルスを理解する （3）「私の健康度」チェック （4）生活習慣の整え方		2 H	1.5 H
	6 コミュニティ ウェルビーイング〔講義・討議・ワーク・情報交換〕 （1）地域社会とのつながりの確認 （2）学校・会社組織を取り巻く人たちとの関係づくり		0.5 H	1 H
			6 H	6 H
	アピール ポイント		人材育成に関わる方々（企業の教育担当者、職業訓練機関の指導員等）が、従業員や学生・訓練生等のウェルビーイング（幸福度）の高め方やアプローチ法を具体的に理解できる。指導にあたって、自身の題材で考察する。	
	研修成果が 活用できる 職務	職務 1	職務 2	職務の内容
人材育成（部下指導、OJT、OFF-JT等）			職務遂行現場	
研修 キャリア構築への助言			講師 面談時の対応	
担当教員 （ユニット）	外部講師			
使用する機器 等	PC、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード等			
受講者が用意 するテキスト （予定）	なし			